

北海道松前町 松前町ツーリズム推進協議会

URL なし

問合せ先

窓口組織名:松前町交流の里づくり館
住所:北海道松前町神明 30 番地松前町教育委員会内
TEL0139-42-3060 FAX0139-42-2211
e-mail:eiichi.noto@town.matsumae.hokkaido.jp

アクセス

最寄りの都市:函館市
集合場所:松前町体験学習館(旧原口小学校)
車の場合:120分 鉄道の場合:120分

**受入概要**

松前は津軽の山々が見渡せるほどに近い海峡をへだて、かつて鎌倉時代や江戸時代に北前船が往来して賑わいを極めた交易文化の発祥地です。スルメイカやマグロ漁が基幹漁業で、するめ加工業も主産業のひとつです。観光ニーズも多様化し、これまでの観る観光から滞在してじっくりその町にふれるツーリズム観光が台頭してきました。町では2008年に「ツーリズム推進協議会」を立ち上げ、様々な観光資源を発掘してモニターツアーで内容を深めてきました。また、児童・生徒向けに教育体験メニューも屋内・屋外の組み合わせを自由に充実。廃校を利用した「交流の里づくり館」も改装し皆様をお迎えする準備は整っております。「海を活用した学習体験」・「北海道開拓の礎となる歴史学習」・「海産加工を通じた食育学習」など今日的「生きる力」を育む教育課題を、松前を舞台に展開してみてください。

受け入れ地域の特徴**自然・地理的な特色**

北海道の最南端に位置し、津軽海峡西口に面している。青森県内からはJR津軽海峡線によるアクセスが可能で、北海道全域と北東北エリアにおける宿泊体験活動の拠点を目指している。海岸線は60kmで細長い集落形成となっており、受入拠点の原口地区は、その最南端で、隣町の上ノ国町、江差町との往来も盛んである。

原口地区は180世帯400人の半農半漁地区で、住民は、廃校利用の「交流の里づくり館」を拠点の都市との交流を望んでいる。植生は変化に富み、原口は集落の前面に日本海、背後地に大千軒岳を有し、地元有志が旧小学校の廃材で造った山頂の山小屋がランドマークになっている。積雪量は少なく、年平均気温は10℃と、道内では比較的温暖な地域である。"

**歴史・文化的な特色**

近江商人の北前船経営が、松前城下に経済繁栄をもたらすと同時に「文化西方より来たり」と巷間云われるごとく、京・上方文化が色濃く伝えられた。今に見る暖地性の梅や椿などの花木や孟宗竹も船で運ばれ、宗教も海峡を渡って伝えられている。松前城や寺町界隈の文化財・伝統芸能などに伝承されてきている古文化を垣間見ることができる。また、当地出身の書家金子鷗亭(おうてい)とその一門が建立した84基の石碑群(北鷗碑林)は、歴史ある街にふさわしい趣がある。

農林水産業の特色

【漁業】春はヤリイカ漁の電光で始まり、スルメイカ漁・ウニ漁・アワビ漁・コンブ漁と続く。津軽海峡にはえ縄漁が行われる7月中旬から12月までは高級クロマグロの漁獲で港は活気づく。浅海増養殖事業も盛んで、通年海の味覚は提供できる。道の駅「北前船 松前」は漁協の経営で、格安の提供品は人気も上々である。

【農林畜産】温暖な気候に適したジャガイモを中心に立茎アスパラ栽培やハウスを利用したシイタケやイチゴ栽培が行われている。作況は南東風に左右されがちだが、敵地での野菜類も広く作付けされ、地産地消の一環で地元農業者らが開く朝市は人気を博している。農業の主体は畜産業であり、道南黒毛和牛の一大産地である。素牛出荷の市場評価は高く、将来は松前ブランドの牛肉販売をめざしている。林業は道南杉ブランドの一角をなす「松前スギ」の優良材を産出するため、間伐などの林地手入れに努めるとともに、林道網整備や里山エリアなどのハード整備とともに緑とふれあう育樹活動にも力を入れている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	10	1	3	5	1
最大宿泊可能人数	30	14	38	300	30
料金	4000円	6500円	5000-6500円	6300円-21150円	800円

おすすめ体験学習プログラム

ウニ採り体験（所要時間 60 分・漁業体験）

【期間】

6月上旬～7月下旬まで、11月上旬～11月下旬まで。
春ウニは実入りも良いのでお勧め"

【内容】

小型和船に乗り込み、箱めがね越しにタモと呼ばれる採取道具を使い、天然のウニを採取する。船上から地元漁師とおなじ道具で採取できる。その後ウニの塩水パック加工体験も連動してできる。

野鳥観察会（所要時間 180 分・自然・環境体験）

【期間】

4月中旬～10月中旬まで

【内容】

野鳥を中心とした自然観察会。野鳥に関する科学的な知識及びその適正な保護思想の普及、及び自然尊重の精神の必要性と人間性豊かな社会の発展させることを目的とする。
（日本有数の渡り鳥のルートである白神地区で事業を実施し、自然に対する理解を深める。）

漁港や磯からの釣体験 イカ釣り体験（所要時間 120 分・漁業体験）

【期間】

6月上旬～9月下旬まで

【内容】

イカの種類、生息深度、季節による魚場形成、加工実習、釣り技法指導などを学び、イカ釣りを実際にできる実体験する。その釣ったイカを前浜で天日干し加工自ら釣り、加工したイカを食卓に提供する。

離島周遊体験（所要時間 300 分・自然・環境体験）

【期間】

7月上旬～8月下旬まで

【内容】

遊漁船業の許可所有漁船に乗り、松前小島を周遊し、漁港内に上陸する。



受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	農村生活と野外体験	実施時期	5月上旬～10月下旬まで
ねらい	児童が、松前町の特色ある自然・農漁業を体感し、チャレンジするとともに、農漁家泊での家族的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発地(学校)から移動	
	午後	歓迎会 海の見学と釣具づくり	地域の情報提供、受入地区漁業者等との対面、オリエンテーション
	宿泊	松前町交流里づくり館	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。
2日目	午前	海の体験、漁港や磯からの釣体験	海の生きものの観察と採れる魚種の学習、餌の採取から釣までの体験。
	午後	凧づくり体験	自らが絵を描き、骨組みをし自前の凧を作成する
	宿泊	漁家民泊	体験したことをまとめグループでまとめ発表
3日目	午前	ウニ採り、加工体験	漁船に乗船しウニ採り体験をし、採取の仕方を教わる
	午後	ウニ加工とのしイカづくり体験	ウニの加工体験とのしイカづくりを体験
	宿泊	漁家民泊	体験したことをまとめグループでまとめ発表
4日目	午前	離島周遊体験	松前小島を周遊し、島で釣や探索を楽しむ
	午後	離島周遊体験	松前小島を周遊し、島で釣や探索を楽しむ
	宿泊	松前町交流里づくり館	体験したことをまとめグループでまとめ発表
5日目	午前	山の体験	カケコシ山登山、野草観察
	午後	山菜、きのこの採り体験	鎌を使っての草刈体験や山菜、きのこの見分け方体験
	宿泊	松前町交流里づくり館	体験したことをまとめグループでまとめ発表
6日目	午前	片付けとお別れ会	片付け・清掃活動。児童による受入関係者に向けたお別れのことば
	午後	学校に移動	

北海道長沼町

長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会

<http://www.maoi-net.jp/>

問合せ先

窓口名：長沼町役場
住所：北海道長沼町中央北1丁目1番1号
TEL：0123-88-2111 FAX：0123-88-0888
E-mail：t-momono@ad.maoi-net.jp

アクセス

最寄りの都市：千歳市
集合場所：長沼町総合保健福祉センター「りふれ」
車の場合：35分 鉄道の場合：70分



受入概要

各受入農家に3名から4名のグループで分宿、その家で作付けされている作物の播種、移植、収穫等を体験し野菜の本来の味を体感し楽しんでもらう。食事は、受入農家と児童と一緒に作る共同調理で、その食材はなるべくその家で栽培されたものを使用することとし、長沼町の特産品であるジンギスカンも囲むことにしている。毎夕食後は、長沼町の開拓の歴史や農業について語り合う。

農業体験以外には、町内の農業関連施設巡りやえぞライン（温帯と亜寒帯の接点）が走る馬追自然の森遊歩道を散策、北海道ならではの植物、昆虫などを観賞しながら長沼町の自然にふれる。また、ハイジ牧場で動物たちを見て触れて、大自然を満喫する。農業加工体験としては、地元のそば粉を使用したそば打ち体験と試食や古着をリサイクルした布ぞうり体験などができる。その他、郷土芸能観賞も取り入れる。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

町の東側約2割を南北に馬追丘陵が連なっており、その他約8割は広大で平坦な石狩平野の田園地帯となっている。石狩平野の地平線に沈む夕日を臨むことができ、特に晴れた日には日本海と太平洋を彼方に一望できることもある。

植民地区画事業により整然と方眼に区画された田園構図は、郷土風物の一つとなっている。長沼町は、石狩平野の南端部にあつて、札幌市から東に3.2kmの都市近郊に位置し、町域は東西に15.5km、南北に21.1km、総面積168.36km²を有する人口12,400人の町である。本町は、北海道の空の玄関千歳市や恵庭市とも隣接しており、都市近郊型の田園地帯であるとともに、道央の食料供給基地としての役割を担っている。



リフレ施設

歴史・文化的な特色

町名の由来はアイヌ語でタンネトウという沼があったことから、和名で「細長き沼」から「長沼」の地名が生まれた。長沼町勇獅子舞(開拓移民によって伝えられた民族芸能で昭和49年に保存会が結成)、長沼百年太鼓(長沼町の開基百年を記念して新しく創作された郷土芸能で昭和61年4月に農業後継者の青年を中心に保存会が結成)、長沼町田植歌おどり(大正13年に訓導田頭と四衛先生が地元の女子青年団に指導したのが始まり、平成6年4月に保存会設立)といった文化的特色があり、町内56の包蔵地からは異形環状土器や壺形土器などが出土している。

農林水産業の特色

長沼町の農業は、稲作を基幹産業として規模拡大による稲作専業経営が展開されてきたが、国の減反政策により現在では水田の6割強が転作田となっており、稲作、畑作、野菜、花木、酪農など多彩な農業を展開している。耕地面積は11,500ha（水田9,120ha・畑2,350ha・他30ha）、農家戸数は862戸、農家人口は4,235名である。作付けは、水稲3,150ha、小麦2,510ha、大豆1,700ha、甜菜187ha、馬鈴薯127ha、玉葱110haほかとなっており、北海道で収穫される作物のほとんどが生産されている。特に大豆は作付け面積・収量とも全国一を誇る。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	公設の宿泊施設
軒数	34	1
最大宿泊可能人数	100	132
料金	8400円～	5600円～

おすすめ体験学習プログラム

農業体験（所要時間 120分・農業体験）

【期間】

8月上旬～8月上旬

【内容】

畑の草取りやスイートコーン、アスパラ、トマトなどの収穫体験及び秋野菜の播種、移植体験等



馬追自然の森遊歩道散策（所要時間 90分・自然体験）

【期間】

8月上旬

【内容】

馬追自然の森遊歩道を散策し、北海道の昆虫や植物を観察する。馬追丘陵が一番高いところで294.2mあり、アイヌ語で「ハマナスのあるところ」という意味がある。

動物とのふれあい体験（所要時間 90分・自然環境体験）

【期間】

8月上旬

【内容】

世界の家畜を中心に200品種、3,000頭羽が飼育されており、動物とのスキンシップを通じた情操教育の一端を担う。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
-	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	日本の食料基地での農業体験	実施時期	8月上旬
ねらい	児童が長沼町の特色ある自然・農業を体感し、チャレンジするとともに農家民宿泊での家庭的な異世代交流、集団活動や規則正しい生活を行うことで、様々な状況や・立場をわきまえた人間らしく判断して、行動していける“生きる力”を培うこと。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	現地まで移動	
	午後	受入式（地域に関する情報） 農家の生活体験及び農業体験	受入農家との対面（挨拶・自己紹介）、オリエンテーション、当該地域に関する情報交換
	宿泊	農林漁家民宿	農家と共同で夕食調理体験 夕食後、午後の農業体験の感想を語り合う。
2日目	午前	農業体験	農家と共同で朝食調理体験 各農家民宿泊先に任せて農業体験 メインは、各種野菜の播種や収穫体験となる。
	午後	農業体験・生活体験	農家と共同で昼食調理体験 各農家民宿泊先に任せて農業体験・生活体験
	宿泊	農林漁家民宿	農家と共同で夕食調理体験 夕食後、農業体験・生活体験の感想を語り合う。
3日目	午前	農業体験	農家と共同で朝食調理体験 各農家民宿泊先に任せて農業体験 メインは、各種野菜の播種や収穫体験となる。
	午後	自然散策・ハイジ牧場（全児童参加）	農家と共同で昼食調理体験 馬追自然の森遊歩道を散策・動物とのふれあい
	宿泊	公的宿泊施設「ながめま温泉」	団体生活を経験し、規則正しい生活を過ごす。 夕食後は、郷土芸能を觀賞する。
4日目	午前	長沼町の農業施設めぐり	町内の農業施設（穀類乾燥調製貯蔵施設・野菜集出荷施設・ホクレン研究農場・道の駅農産物直売所）見学
	午後	加工体験・農業体験・生活体験	各農家民宿泊先に任せて農業体験・生活体験 農家民宿等で印象に残った体験を絵で表現する。
	宿泊	農林漁家民宿	農家民宿泊のご家庭とお別れ会を兼ねた夕食（共同調理）
5日目	午前	片づけと解散式（お別れ会）	片付け・清掃活動・農家宛の宿泊体験感想を手紙にする。 グループ毎に活動成果をまとめる。
	午後	学校までの移動	児童による受入関係者向けのお別れ会（演奏会）

北海道豊浦町
豊浦・洞爺湖子ども農山漁村協議

<http://www.shizentaiken.com/>

問合せ先

窓口名：NPO 法人自然体験学校
住所：住所北海道豊浦町幸町 1-1
TEL：0142-83-7040 FAX：0142-83-7066
E-mail：fnorth@netbeet.ne.jp

アクセス

最寄りの都市：札幌市・新千歳空港・伊達市
集合場所：豊浦町道の駅（体験により異なる）



受入概要

NPO法人自然体験学校が中心となり、洞爺湖周辺の1市3町（豊浦町・洞爺湖町・壮瞥町・伊達市）の民間受入れ団体や漁業、農業関係者、宿泊施設、商工業者や各行政と連携し、体験・宿泊・飲食などの体験観光をコーディネート。希望の日程や人数・体験等に合わせてトータルで案内が可能。ここでしか体験できない洞爺湖を中心とした地域の特色ある体験や、地域の方と交流のできる体験や特色のある体験を提供します。特に豊浦町では漁業体験には力を入れている。

協議会の中心となっているNPO法人自然体験学校では人材育成の講習会も実施しており、日本生活協同組合連合会の安全管理者講習会や、子ども農山漁村交流プロジェクト受け入れ地域での体験活動リーダー養成講習会も実施。これまで20年以上体験の受け入れ実績があり（NPO前含む）、モデル校の受け入れも20年度3校実施している。

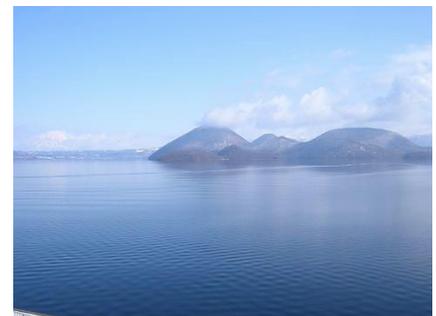
受け入れ地域の特色

自然・地理的な特色

洞爺湖のある胆振支庁は北海道の中央南部にあり、東西 152km、南北 98km の細長い地形をし、南部の約 218km は海岸線で太平洋に面している。支庁洞爺国立公園に指定されているすぐれた景勝地があり、洞爺湖周辺では国際的にも重要な火山地形を呈している。

また、支庁洞爺国立公園は、洞爺湖・支笏湖の二大カルデラ湖に、有珠山・昭和新山・羊蹄山など様々な形式の火山や火山地形を見ることができる。多種多様な温泉や硫気の吹き出す地獄現象などの火山活動が見られ、まさに生きた火山の博物館といえる公園である。

また、北海道のなかでは比較的温暖で暮らしやすい地域です夏は蒸し暑さはなく、さわやかで安定した気候の長い秋が続き、冬は大陸からの寒気の影響が小さく、山間部を除いて温暖で積雪量も少ないなど、恵まれた気象条件である。



洞爺湖

歴史・文化的な特色

北海道特有のアイヌ文化体験や、近隣の伊達市では縄文体験や文学資料館などあります。また貝塚もあり、昔の生活を勉強することができる。また、洞爺湖には有珠山や昭和新山など、噴火の歴史を間近で見学することができる「火山学習」も可能。昭和新山が間案ベル「三松正夫記念館」や有珠山や洞爺湖が学べる「洞爺湖ビジターセンター」もあり、この地域の文化・歴史を体感できる

農林水産業の特色

豊浦町、及び洞爺湖周辺は、北海道内でも比較的温暖な地域にあり、洞爺湖をはじめ噴火湾内の穏やかな海、川、滝、山などがある。この資源を活かした一次産業盛んで、ホタテの養殖や鮭の付加事業を中心とした漁業、農業においては特色ある地形を活かし北海道ではめずらしいイチゴ栽培や養豚、ジャガイモをはじめとする畑作もある。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	10	5	10	1
最大宿泊可能人数	50	50	6500	200
料金	5500円～	4000円～	6500円～	-

おすすめ体験学習プログラム

鮭のつかみ取り体験（所要時間 60 分・漁業体験）

【期間】

9月中旬～10月下旬

【内容】

太平洋から川に遡上してきた鮭をつかみ取りする体験。川の中を泳ぐ鮭にふれることができる。

通常、川での採捕は漁業権のある漁師にしかできないため、特別に許可をとって実施できる、豊浦町だけでできるプログラムである。



農家ビジット・農業体験（所要時間-・自然・環境体験）

【期間】

5月上旬～10月中旬

【内容】

実際酪農（農家のお手伝い、搾乳など）体験や、いちごの収穫やジャガイモ掘り体験などを行い、農業について指導していただく。



噴火湾軽石彫刻体験（所要時間 60 分・クラフト体験）

【期間】

通年

【内容】

珍しい有珠山の噴火石を使い、自分だけの軽石アートを作成する軽い彫刻体験を実施する。

地引網体験（60 分・漁業体験）

【期間】

5月上旬～10月下旬

【内容】

漁師さんに教わりながら昔ながらの漁法である「地引網」を体験する。噴火湾で捕れる魚を観察することが出来る。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	春のおすすめモデルプラン	実施時期	5月中旬～8月下旬まで
ねらい	豊浦・洞爺湖周辺地域の特色ある景観や農林漁健康にを体感し、体験活動等にチャレンジすることで新たな自分の発見をすると共に、宿泊における集団活動や規則正しい生活や体験指導者等との異世代交流、また地域の特色を理解することができ学習面・生活面において効果を得ることをねらいとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発地(学校)から移動。	
	午後	地引網体験	漁師さんから指導を受け体験をする。海で遊ぶこと、海の清掃ボランティア体験も可能。豊浦の漁業について知識を学ぶ。
	宿泊		
2日目	午前	漁師ビジット体験	漁師から直接指導を受け、漁師のお手伝いをする体験をする。
	午後	ホタテの殻むき体験	ホタテについて勉強したあと噴火湾の新鮮な活ホタテの殻を剥き試食する。
	宿泊		
3日目	午前	農業ビジット体験	農家から指導を受け、農家のお手伝いを体験する。
	午後	クラフト体験	様々な種類のクラフト体験があるのでご希望の体験を実施
	宿泊		
4日目	午前	バター作り、アイスクリーム作り	新鮮な牛乳で、バターやアイスクリーム作りを体験。
	午後	パークゴルフ体験	4人1グループに分かれてパークゴルフを体験。
	宿泊		
5日目	午前	宿泊体験活動のまとめ（地域関係者のサポート付き）	保護者宛やお世話になった方へ感想の手紙を書く。
	午後	学校まで移動。	

北海道大樹町
南十勝長期宿泊体験交流協議会

<http://www.town.taiki.hokkaido.jp/>

問合せ先

窓口名：南十勝長期宿泊体験交流協議会事務局
住所：北海道大樹町東本通 33 番地
TEL：01558-6-2111 FAX：01558-6-2495
E-mail：kiyohara@town.taiki.hokkaido.jp

アクセス

最寄りの都市：①帯広市・②札幌市
集合場所：大樹町生涯学習センター
車の場合：①70分・②240分
鉄道の場合：①なし・②210分



受入概要

本地区での自然体験活動のプログラムは、北海道に住む生き物、山、川、海など日本の他の地区では用意できない『北海道の大自然』を活動の素材としているが、自然の中でただ活動することが『自然体験活動』ではない。本地区における活動の基本を「友に学ぶ、共に学ぶ」においている。

運営を担当する専門のNPOがコーディネーターを担当しており、専門のNPOによるリーダーの養成、地域住民へ対する研修が行われることで、子どもたちにとっての優しいおばさんやお姉さん、厳しいおじさんやお兄さんがそれぞれの役割を担う体制ができています。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特徴

北海道の背骨日高山脈分水嶺から東に太平洋を望む南十勝は、山岳から海洋まで多様な自然資源に恵まれている。秋鮭は毎年産卵のために母なる川に還り多くの恵みをもたらす。海岸地帯には湖沼群が点在し葦に覆われた湿原が広がる。沼にはシジミやワカサギが繁殖、丹頂が息し渡り鳥も多く飛来する。

夏は涼しく過ごしやすいが冬は零下20度になる日もあり台風の到達は少ない。じゃがいも、豆類、甜菜、小麦など畑作と酪農が盛んで、大規模専業農家がほとんどで鮭鱒、シシャモ、毛がになど水産資源に恵まれ漁業も盛んである。また、大樹町には雪印乳業大樹工場があり生乳を主にチーズに加工、全国に出荷、酪農家の工房も多くあり、チーズの里として名を馳せている。



坂下仙境

文化的な特徴

寛永12年（1632）から歴舟川などで砂金採取がはじまり、十勝発祥の地となった。明治33年頃に砂金掘り師が詰めかけ賑わいを見せた。現在も砂金堀を楽しむ愛好家、地域の住民「砂金掘り友の会」では道具の貸付、技術を伝承している。

明治19年依田勉三一行が大樹町生花地区に入植、牧畜業を始めバターなど乳製品を製造し、今日の酪農の基盤を作った。現在も入植当時の家屋などが復元保存されている。臨海地帯は平坦で東に太平洋が広がり、民家が少ないなど宇宙往還機発着場の適地として注目されてきた。平成7年1,000m滑走路を有する多目的航空公園を整備、航空宇宙関連実験のメッカとして多くの研究者に利用されている。

農林水産業の特徴

じゃがいも、豆類、甜菜、小麦など畑作と酪農が盛んで、大規模専業農家がほとんどである。

大樹町と広尾町は鮭鱒、シシャモ、毛がになど水産資源に恵まれ漁業も盛んである。大樹町には雪印乳業大樹工場があり、大樹町と広尾町で生産される生乳を主にチーズに加工、全国に出荷している。また、酪農家が自ら自家製チーズを造り販売する工房も南十勝に多くあり、チーズの里として名を馳せている。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	農林漁家民宿	農林漁家以外の民宿	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	17	30	3	3	1
最大宿泊可能人数	100	100	100	100	40
料金	5000円~7000円	5000円-7000円	5000円-8400円	5000円-8400円	2000円-3000円

おすすめ体験学習プログラム

白樺樹液採集（所要時間 120 分・自然・環境体験）

【期間】3月下旬～4月下旬まで

【内容】

白樺に穴を開け、採集口を取り付けたり、聴診器で樹木の吸水音を聞いたりしながら、春の芽吹きを体感する。採りたての樹液試飲や、採集口をふさぐ作業もあり、樹木とふれあいその恵を体感する。



鮭漁定置網おこし（所要時間 240 分・漁業体験）

【期間】9月上旬～10月中旬

【内容】

遊漁船による釣りとは違い、仕掛けておいた網を数隻の漁船が協力し合って引き上げる。銀鱗を躍らせる鮭はダイナミックでいつもにも増し大きく感じる。それをまじかに見て触れ食料としての前に、生き物としての鮭も認識する。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	-	○

おすすめのモデルプラン

プラン名	一次産業と食を通じ、生物と環境との関わりを理解し、生命を尊重する態度を育てる	実施時期	通年
ねらい	農産物収穫と加工について原料入手から調理・加工にいたるまでの一連の流れを自ら手がけ、一次産業現場から食までを意識し体験させる。本プログラムは、大樹ピザ、大樹ハンバーガーを完成させるという目標に向かって、食材や燃料を自らの労働の対価として手に入れていくよう、様々な体験活動を体系的に組み込んでおり、生きる力を身に付けさせるとともに、達成感をもたらすプログラムである。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1日目	午前	出発地(学校)から移動。	
	午後	(開会式 オリエンテーション)	子どもたちと指導者が良い関係性を築くためのオリエンテーションを行い、コミュニケーション術を学ぶ。1時間
	宿泊	農林漁家民泊	宿泊する農林漁家の家族の皆さんに自分を紹介するための名刺作り、また、名刺交換のマナーなども学ぶ。
2日目	午前	仕事見学	農林漁家でそれぞれの家の一次産業について学ぶ 農林漁家でのその日の仕事を見学。牛舎、サイロ、トラクター、ハウス、貯蔵庫、漁船、漁港、加工処理施設などそれぞれの農林漁家の作業場などを見学し、仕事の内容と社会とのつながりを学ぶ。
	午後	牧場で牛の世話や大根抜きなど仕事に携わる	哺乳、ブラッシングなど子牛の世話、搾乳の手伝い、牛舎の清掃など農業の実験を体験する。3時間 一時間程度、手作業の体験により、圃場の広さを体感。その後、機械化された収穫作業の手伝い、及び選荷場での箱詰実習。
	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
3日目	午前	間伐作業の手伝い	間伐とは何か、間伐の必要性、方法などを学び、チェーンソーを使った間伐作業の現場を体験する。
	午後	薪割り体験	切り出した間伐材の枝打ち、輪切りし、運搬する。その後、薪割り体験。その薪を使った調理へ。
	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
4日目	午前	チーズ・ソーセージ作り	絞った牛乳を殺菌し、乳酸菌・酵素を入れ、温度計測、時間管理、攪拌作業などチーズ作り体験。3時間 チーズと関連するホエー豚の説明後、肉に香辛料を混ぜたり、手で練ったりしながら、豚腸に詰めてタコ糸で縛り、乾燥・薫煙・ポイルなどソーセージ作り体験
	午後	大樹ピザ・大樹ハンバーガー作り	宿泊体験期間に作ったチーズ、ソーセージ、大根浅漬け、牛の手伝いの対価としてもらった野菜、間伐で得た薪を使い大樹ピザ、大樹ハンバーガー作り。
	宿泊	公的宿泊施設	団体生活を体験し、規則正しい生活を過ごす。
5日目	午前	植樹 ふりかえり・閉会式	お世話になった人や自然環境に恩返しの意味を込めて植樹を行う。(体験活動によって発生した二酸化炭素の回収を図る。) 1時間 達成感や自己受容、仲間とのコミュニケーションといった内容を中心に体験したことをわかちあう
	午後	学校まで移動	

北海道池田町
自然体験学校 いけだ校

<http://www.shizentaiken.com/>

アクセス

窓口名：NPO法人 自然体験学校
住所：北海道池田町昭栄 49-6
TEL：015-572-5929 FAX：015-579-2188
E-mail：takeuchi@shizentaiken.com

アクセス

最寄りの都市：帯広市
集合場所：池田町 ワイン城
車の場合：40分



受入概要

「準備段階」「実践中」「実施後」の安全対策を万全にした、受け入れ方針を第一としている。

当地域において、25時間以上述べ4日間の指導者養成会を実施して、人材育成にも力を入れている。その他にも、地域住民に対して救急法のセミナーや講習会の開催といった普及活動を実施している。当検討委員会が立ち上がったからの3年間、4町で勉強会を開催したり、先進地の視察に行ったり、旅行会社に参加していただいた勉強会なども数回実施した。

受け入れ母体のNPO法人自然体験学校は、5年前から夏季と冬季に、20名程度の首都圏の子ども達を10日間預かって、廃校を利用した施設で宿泊し共同生活をしながら、さまざまな野外・室内の体験活動などをさせてきた。道内をはじめ本州から訪れる修学旅行生も100名から320名程度の受け入れも行ってきている。その経験を活かして、このプロジェクトにおける子どもの受け入れを実施し、地域との交流を持ち、地域の活性化につなげていきたいと考えている。

受け入れ地域の特徴

自然・地理的な特色

当地域の4町は利別川を中心に位置しており、秋には鮭も遡上するので、鮭の生態や一生などを学ぶことができる。オンネトーなどの湖や阿寒岳を含む大小の山が各町にあり、子どもの体験活動における自然的資源は豊富である。三町には温泉資源などがある。十勝は、雨も少なく農業、林業が盛ん。体験フィールドも豊富である。

十勝東北部4町のアクセスについては、高速道路のICが3箇所、JR特急停車駅もあるため、道央や道東からの移動が便利である。また、最寄の空港からも約60分で当エリアに来ることができる。体験メニューにもよって場所移動が必要な場合、バス車内等でレクリエーション等コミュニケーションを図ることもできる。



広大な牧草地

歴史・文化的な特色

池田町には、財政再建団体からワインでまちづくりに成功したワイン城、本別町には、道立唯一の農業大学校を擁し豆を中心とした産業、足寄町には、地球生物の起源を知ることのできるオンネトー湯の滝、デスマスチルスを中心とした動物化石博物館、陸別町には、日本で3番目に大きな大型望遠鏡があり、宇宙を見ることができたり、2年前に廃止された第三セクター鉄道の動態保存公園が今年できる予定である。

以上、各町にこれだけの資源があり、さらに隠れた資源も多数ある。

農林水産業の特色

池田町：財政再建団体から寒冷地に適したブドウづくり、ワインづくりなどを行い、またそれによるまちづくりに成功。

本別町：道立唯一の農業大学校を擁し、豆を中心とした十勝の農業を実施している。

足寄町：地域の特産でもあり北海道遺産でもあるラワンブキ、地球生物の起源を知ることのできるオンネトー湯の滝、デスマスチルスを中心とした動物化石博物館、など面積の広い町ならではの個々の地域の特色を持つ。

陸別町：本で3番目に大きな大型望遠鏡があり、宇宙天体観測が可能。また、廃線になった第三セクター鉄道の動態保存や、鉄道の歴史を知ることができる。

宿泊施設・農林漁家民泊の概要

	農林漁家民泊	ホテル・旅館	公設の宿泊施設
軒数	10	20	1
最大宿泊可能人数	40	400	200
料金	5500円～	6500円～	-

おすすめ体験学習プログラム

カヌー体験（所要時間 30 分・スポーツレジャー体験）

【期間】

" 5月中旬～10月上旬

【内容】

普段は見ることの出来ない水面からの自然を感じることが出来る。自然の湖沼にて行う。

シーブドッグショー（所要時間 30 分・動物昆虫体験）

【期間】

4月下旬～10月下旬

【内容】

広い十勝平野で牧羊犬が羊を誘導する様子を見学し、羊のことを勉強する。勝には羊農家が多くあり、地域の産業としての役割も担っている。

オンネトー散策（所要時間 300 分・自然環境体験）

【期間】

5月下旬～9月下旬

【内容】

豊かな自然の残るオンネトーや湯の滝散策をする。国立公園の話、オンネトーの不思議、などにも触れる。



ペレット工場見学とエコカラー体験（所要時間 90 分・林業体験）

【期間】

5月中旬 ～ 10月中旬まで

【内容】

足寄町で取り組んでいる環境に優しいペレットの工場見学と、おがくずを再利用したエコカラーでハガキサイズの絵を作る。

受入時の安全対策

学校関係者向けガイドライン作成	受入地域内関係者のガイドライン作成	他安全対策資料用意
○	○	-

おすすめのモデルプラン

プラン名	春の自然体験プラン	実施時期	5月下旬～7月上旬
ねらい	十勝の特色ある景観や農林作業を体感し、体験活動等にチャレンジすることで新たな自分の発見をすると共に、宿泊における集団活動や規則正しい生活、体験指導者等との異世代交流、また地域の特色を理解することができ、学習面・生活面において効果を得ることをねらいとする。		

日	時間帯	プログラム名	学習内容
1 日目	午前	入校式・現地までの移動	
	午後	シーブドッグショー 羊毛体験	羊を追う牧羊犬の見学 1 時間 羊の毛を使ったクラフト体験
	宿泊	公的宿泊施設、農林漁家民泊	
2 日目	午前	豆腐作り体験 バター作り体験	本別町の特産の豆を使って、農家の方に豆腐作りを指導して自分たちで豆腐を手作りします。2 時間 新鮮な牛乳を使用して、バターを手作りします。
	午後	カヌー体験・自然散策	普段は見ることのできない水面からの自然を感じることが出来ます。また、自然あふれる十勝の大地を自然散策します。
	宿泊	公的宿泊施設、農林漁家民泊	
3 日目	午前	熱気球体験 ペレット工場見学とエコカラー体験	十勝の大空から十勝平野を見下ろし、その広さを実感することができます。1 時間 足寄町で取り組んでいる環境に優しいペレットの工場見学と、おがくずを再利用したエコカラーでハガキサイズの絵を作ります。
	午後	植林体験	九州大学北海道演習林の協力で、地球温暖化を防ぐために必要な植林の体験を行い、地域に木を育てます。
	宿泊	公的宿泊施設、農林漁家民泊	
4 日目	午前	化石体験と足寄化石動物博物館見学	化石のレプリカ作り、または化石を発掘する体験です。
	午後	りくべつ鉄道トロッコ体験 お手紙書き	鉄道が廃線後の線路を使い乗車体験やトロッコ体験ができる、ここだけの特別な体験です。2 時間 お世話になった方へお礼のお手紙を書きます。
	宿泊	公的宿泊施設、農林漁家民泊	
5 日目	午前	チーズ作り・アイス作り	酪農についてのお話のあと、新鮮な牛乳を使用してチーズやアイスを手作りします。
	午後	閉校式	